

2024 年度 個人研究実績・成果報告書

2025 年 4 月 20 日

所属	サービス創造学部	職名	教授	氏名	坂井 恵
研究課題	アカウントビリティ研究				
研究キーワード	アカウントビリティ、協働、ガバナンスほか	当年度計画に対する達成度	2.順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた		
関連するSDGs項目	12. つくる責任 つかう責任	16. 平和と公正をすべての人に	該当なし	該当なし	

1. 研究成果の概要

2024 年度の主たる研究成果は、2023 年度にまとめた経営者固有の意思決定にかかるアカウントビリティに関する研究をコーポレート・ガバナンス問題に関連付けて論じ、2020 年度以降取り組んでいる協働とアカウントビリティの研究をさらに発展させたことにある。

また、アカウントビリティの方法に関する研究、組織論的管理論からのアカウントビリティへの接近等、次なる課題についての研究の準備も、順調に進めることができた。

2. 著書・論文・学会発表等

(できるだけご記入ください。査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載)

【論文 (査読あり)】

なし

【著書・論文 (査読なし)】

「コーポレート・ガバナンスにおける経営者のアカウントビリティ——ステイクホルダーとの協働との関わりを中心として——」『三田商学研究』第 67 巻第 5 号, 183-205 頁, 慶應義塾大学出版会 (2024 年 12 月).

【学会発表等】

「協働におけるアカウントビリティの方法に関する試論——今日の会計制度における説明の限界と課題——」経営学史学会東北部会 (報告) (2025 年 3 月).

3. 主な経費

備品 (PC) 199.8 千円、学会費等 64.4 千円、消耗品 (書籍) 47.9 千円、旅費 (部会参加等) 35.3 千円

4. その他の特筆すべき事項 (表彰、研究資金の受入状況等)

(本文は 2 ページ以内 にまとめること)